



患者様と介護者様のための教育支援

乳腺手術前の放射性シード局在化

この情報は、メモリアルスローンケタリング（MSK）における乳腺手術の前に行われる放射性シード局在化について説明するものです。

乳房シード局在化について

乳房シード局在化とは、小さなゴマほどの大きさの金属種を異常な乳房組織に入れ、その位置を示す方法です。異常な組織が小さすぎて、目で見たり手で感じたりすることができない場合に行われることがあります。その種には微量の放射線が含まれています。

手術では、外科医が特別な道具を使って、乳房の種とその周囲の異常な組織を見つけます。そして、種と組織を取り出します。

担当医が手順を説明し、ご質問に答えてくれます。

施術の前に

医療従事者に相談する

パッチやクリームなど服用しているすべての薬について担当医に伝えてください。乳房シード局在化の前に、特定の薬の服用を中止する必要がある場合があるからです。

現在、授乳中の方は、担当医に伝えてください。授乳を続けられるように、別の種類の乳房シード局在化を行うことができるかもしれません。

皮膚からデバイスを外す

特定のデバイスを皮膚に装着することがあります。デバイスの製造元は、スキャンや処置の前に、次を外すことを推奨しています。

- 連続グルコースモニター（CGM）
- インスリンポンプ

医療従事者に相談し、デバイスの交換は必要な日に近い日に予約を取るようにしましょう。スキャンや処置の後に装着するために、予備のデバイスを必ずお持ちください。

デバイスの電源が切れている間、どのようにグルコースを管理すればよいのかわからないかもしれません。その場合は、予約の前に、糖尿病の治療を管理している医療提供者に尋ねてください。

施術日

- 胸や乳首、脇の下には何もつけないようにしましょう。これにはタルカムパウダー、デオドラント、香水、コロン、クリームなどが含まれます。
- 脱ぎ着しやすいシャツを着ましょう。
- 薬にアレルギーがある場合は、施術を行う医師に伝えてくだ

さい。

施術中

乳房シード局在化は、マンモグラフィーで乳房を圧迫しながら行うか、超音波で組織を確認しやすい場合は超音波検査で行います。

まず、医師がマンモグラフィーや超音波で乳房の写真を撮ります。異常な組織の場所を確認したら、その部分の近くに局所麻酔薬（患部を無感覚にする薬）を注射します。

患部が無感覚になったら、医師が種の入った注射針を乳房に挿入します。針を刺した後、さらに乳房の写真を撮ります。必要に応じて針の位置を変更し、さらに写真を撮ります。

針が正しい位置に来たら、種を組織の中に入れ、医師が針を抜きます。種は手術まで乳房に留まります。種の正確な位置を示すために、もう一組の写真を撮影します。後に、外科医がこの写真をマップにして、手術を導きます。

針を刺した部位をサージカルテープ（ステリストリップ™など）で覆い、サージカルテープの上から小さな包帯（BandAid®など）を巻きます。

シャワーを浴びる前に、包帯をはずしますが、ストリップは肌につけたままにしてください。シャワーについては、担当外科医の指示に従ってください。ストリップは担当外科医が外してくれます。

乳房の種の位置確認は30分ほどで終了します。

手術後

- 今後1ヶ月間（30日間）、または手術で種が取り除かれるまでは、1日30分以上、赤ちゃん、子供、幼若動物を胸に抱えるのはやめましょう。
- 患者さんが触ったものや着ている服が放射能に汚染されることはありません。患者さんと物理的に密接に接触している人が、ごく微量の放射線を浴びる可能性があります。この暴露が有害であるという証拠はありません。

ご質問や心配事があるときは、医学物理学のRadiation Safety Service（放射線安全サービス：212-639-7391）までご連絡ください

ご質問がある場合は、ケアチームのメンバーに直接お問い合わせください。MSKの患者様が、医療提供者に連絡を取る必要がある場合は、午後5時週末、または祝日にプロバイダーに連絡を取る必要がある場合は、212-639-2000までお電話ください。

更なる資料については、www.mskcc.org/peにアクセスして、仮想図書館で検索してください。

Radioactive Seed Localization Before Breast Surgery - Last updated on January 19, 2021

著作権所有者 Memorial Sloan Kettering Cancer Centerにより、無断転載は禁じられています。